

紀要の発行

当館は、美術館建設準備室時代の昭和58年に紀要第1号を刊行し、以後毎年1回のペースで刊行を続けてきた。

その目的は、美術館活動の基礎となる学芸員の調査・研究成果を広く公開し、館蔵品を中心とした美術作品の研究の進展に寄与することである。従って、研究テーマは主に館蔵品であるが、各学芸員の研究意欲に従い、広く美術および美術館をとりまく諸問題まで取り扱う。成果品は、例年のように、全国の研究機関、研究者へ配布した。

第21号

■版型 29.7×21.0cm

■内容

□口絵図版

- ・今村紫紅《宇津の山路》（全図、部分図） 当館蔵
- ・今村紫紅《鳶の細道》 横浜美術館蔵

□論文

- ・小針由紀隆「狩猟図とパレルゴンーフェデリコ・ズッカロの素描を始点にした一考察」
- ・堀切正人「黒川翠山の富士山写真－写真の虚構性をめぐって－」
- ・森充代「今村紫紅《宇津の山路》考」

□各論英文レジュメ

■発行 平成18年3月31日